

研修報告書

焼津市議会議員 様

議員氏名 藤岡 雅哉

令和7年11月8日から令和7年11月9日まで下記のことについて、研修に参加したため、概要について報告いたします。

研修名	全国地方議会サミット 2025
研修の目的	近年の議会動向を象徴する「SNS・AI・DX」「主権者教育」「議会改革」のトピックスを学び、地方議会が進むべき方向性を研究する。
【DAY1】 炎上の時代と SNS・AI、議会改革 ◆ 基調講演『「炎上の時代」の政治コミュニケーション』廣瀬克哉 法政大学法学部教授 教授は「SNS には炎上を自動的に増幅させる構造がある」とした上で、炎上の時代における政治家のコミュニケーションのあり方について言及。特に「誰に向けてメッセージを発信するか」を明確にすることの重要性を強調し、「誰も」「みんな」という漠然とした相手ではなく、「誰か」との間の丁寧なコミュニケーションで自分の考え方や実現しようとする社会のあり方を確立することが、炎上の時代であっても何よりも大事であると述べた。 ◆ セッション「SNS の影響と地方議会の方向性」JX 通信社代表 米重克洋氏 「インフレとメディアシフトが起こす日本政治の地殻変動」と題した発表では、選挙におけるメディアシフトの影響が顕著であること、対立的な言説が広まりやすいネットの情報空間の構造について具体的なデータをもとに指摘があった。続くパネルディスカッションでは、SNS を活用した双方向対話による政策立案の可能性や、各投稿のエンゲージメント分析の重要性について議論が展開された。 ◆ セッション【AI と地方議会】高選圭 福島学院大学教授・河村和徳 拓殖大学教授 AI 技術を議会運営や政策立案に活用する上での課題として、行政情報のオープン化の必要性や、デジタル技術にアクセスできない市民への配慮としてのデジタル・インクルージョン的発想の重要性について議論された。AI を活用しながらも、すべての市民の声を政策に反映させる仕組みづくりが求められることが確認された。 【DAY2】 子ども・若者の声と議会の政策づくり ◆ セッション【子ども・若者との政策づくり】林紀行 日本大学法学部教授 富士見市議会、浜田市議会、NPO 法人 DAKKO による先進事例の報告が行われた。主権者教育を単なる啓発活動ではなく、議会改革の一環として位置づけ、将来の主権者である子どもや若者に必要な資質を身に付けてもらう活動として制度化することの重要性が議論された。特に、子どもや若者の声を政策に反映させる具体的な仕組みづくりや、対等な立場での対話の場を設けることの意義について、各事例から学ぶことができた。 ◆ セッション【議会による政策づくり】江藤俊昭 大正大学教授 一関市議会、横須賀市議会、知名町議会による政策提言の実践事例が報告された。江藤教授は、住民福祉の向上につなげるためには、議員個人単位での活動には限界があり、議会が機	

関として政策形成サイクルを実践することの重要性を強調された。報告された各議会では、市民の声を広聴する仕組み、政策課題の抽出、議会としての政策立案、執行部への提言、その後の検証というサイクルが制度として確立されており、議会が執行部に対抗できる政策形成能力を持つことの具体例を学ぶことができた。

◆ 北川正恭教授【LM 最終講義】北川正恭 早稲田大学名誉教授

分権改革とマニフェスト運動の歴史を振り返りながら、議会の本来の役割について講演された。北川教授は「議会の役割は執行部に対する監視機能だと言われるが、それは一部であり、本来は民意の反映である」と述べ、そのためには議員個人では限界があるため、議会事務局を含めた「チーム議会」として執行部に対抗することが重要であると説かれた。また「議案を否決したことのない議会は存在しなくても良い」という強いメッセージを発信され、議会が真に議決機関として機能するための覚悟を問いかけられた。

◆ 所感

✓ SNS 活用について

「炎上の時代」における SNS 発信では、「誰に向けてメッセージを発信するか」が重要であるとの言葉が印象に残った。「誰も」「みんな」という相手はいないという認識を、自身の SNS 発信の際に常に意識したいと感じた。SNS に関する講演から、双方向対話が可能な SNS を活用した政策立案で、有権者を巻き込むことの可能性を感じた。各投稿のエンゲージメント分析が重要であり、どのように活かすべきかを研究したいと考える。

✓ 主権者教育について

主権者教育は議会改革のひとつであり、将来の主権者に必要な資質を身に付けてもらう活動であるとの視点が新鮮だった。表面的な理解ではなく、将来の主権者として対等に議論できる場づくりの重要性を認識した。

✓ 議会による政策づくり

江藤教授の「議会による政策づくり」において、住民福祉の向上につなげるには、議員個人単位ではなく、議会が機関として機能すべきであるとの主張に深く賛同する。自身の所属する議会の実態と乖離している部分もあるが、各市町の先進事例から、あきらめず理想を追っていくべきであると感じた。

✓ 北川教授の講演から

最終講演において、特に以下の言葉が印象に残った。

「議会の役割は執行部に対する監視機能だと言われるが、それは一部であり、本来は民意の反映である。その為には議員個人では限界があるため、議会事務局を含めたチーム議会として執行部に対抗することが重要であり、そこで初めて議決権を持つ議会が機能する」

「議案を否決したことのない議会は存在しなくても良い」

◆ 今後調査研究・実践すべき事項

✓ SNS 活用の実践

議員活動の発信においてエンゲージメント分析を進めながら、民意を政策提言に反映するため、アンケートや意見交換など、その機能を活かした活用を実践していきたい。

✓ 主権者教育の推進

こども若者の声を活かすといった表面的な理解ではなく、将来の主権者として対等に議論できる場づくりなど、議員としてできる活動を進めていく。

✓ 政策提言の実行

真の二元代表制として議会が民意をもとに政策を立案し執行部と対峙する、その理想は念頭に置きながら、自身の活動において市民の声の広聴し、現場や執行部への徹底した取材で課題を明確にした上で、一般質問などにおいて政策提言を実行していきたい。

今回のサミットを通じて、地方議会を取り巻く環境の変化と、それに対応するための具体的な手法について多くの学びを得ることができた。特に、SNS や AI といった新技術を活用しながら、本来の議会の役割である民意の反映をいかに実現していくかについて、今後の議員活動の指針を得ることができたと考えている。

* 上記に書ききれない場合は、適宜別紙を添付してください。

* 参考資料等がある場合は、添付してください。



2025

全国地方議会サミット

今年のサミットでは、昨今の議会動向を象徴する
「AI・DX」「主権者教育」「議会改革」のトピックスを
中心にこれから議会が進むべき方向性を議論します。

参加募集
オンライン
配信あり

LM最終講義



北川正恭

早稲田大学名誉教授

長年にわたり地方分権や
議会改革を提唱されてきた
北川教授の【LM最終講義】
を2日目に行います。

- ✓ SNSの影響と地方議会
- ✓ AIで地方議会はどう変わる？
- ✓ 子ども・若者との政策づくり
- ✓ 地方議会の政策づくり最前線
- ✓ 議会改革のトレンドと注目議会

2025.11.8 土 9 日

【DAY 1】 START 14:00-18:00

【DAY 2】 START 10:00-15:00

会場 法政大学（東京都千代田区富士見2-17-1）

参加費 議員 15,000円 一般 7,500円

主催 ローカル・マニフェスト推進連盟

後援 全国市議会議長会、全国町村議会議長会

おすすめ

議会・委員会
単位でのご参加

各地の先進事例、専門家の
講演、議会改革のヒントになる
プログラム等を多数ご用意しています。

登壇者



江藤俊昭

大正大学教授

廣瀬克哉

法政大学教授

※他にも注目議会
など多数登壇

《お申込みはWEBサイトから》

<http://www.local-manifesto.jp/gikaigiin/>



お問い合わせ

ローカル・マニフェスト推進連盟事務局



050-8894-0671



lm@local-manifesto.jp

《プログラム》

※変更の可能性がございますことご了承ください

●DAY1／11月8日（土）14:00～18:00

【SNSと地方議会】

「『民意』はどうできていくのか？ SNSの影響と地方議会の方向性」

廣瀬克哉 法政大学法学部政治学科教授

大森翔子 法政大学社会学部メディア社会学科准教授

米重克洋 株式会社JX通信社代表取締役

【AIと地方議会】

「活性化？ 不要？ AIで議会・議員はどう変わる？ 世界と日本の今と未来」

高選圭 福島学院大学地域マネジメント学科教授

河村和徳 拓殖大学政経学部教授

【最新議会改革】

「議会改革のトレンドと注目議会 ～地域経営のための議会改革度調査から～」

山内健輔 早稲田大学デモクラシー創造研究所招聘研究員

【1日目総括】

※終了後、意見交換会あり（別途会費制：参加費4,000円程度／当日現金払いのみ）

●DAY2／11月9日（日）10:00～15:00

【地方議会の政策づくり】

「実践編① ～子ども・若者との政策づくり～」

田口裕斗 NPO法人DAKKO理事「議員との対話で民主主義の担い手を育てる」

勝山祥 富士見市議会議員「富士高生の主張 in 富士見市議会」

浜田市議会「主権者教育につながるこどもの意見の施策反映」

（コーディネーター）

林紀行 日本大学法学部教授/早稲田大学デモクラシー創造研究所招聘研究員

【地方議会の政策づくり】

「実践編② ～議会による政策づくり～」

一関市議会「『政策提言等の実施に関する指針』の策定と実践」

高橋英昭 横須賀市議会 政策検討会議委員長「政策形成サイクルの実践と事例紹介」

外山利章 知名町議会議員「各常任委員会による町民起点の政策提言」

（コーディネーター）

江藤俊昭 大正大学地域創生学部公共政策学科教授

【北川正恭 早稲田大学名誉教授 LM最終講義】

(1)「議会改革と北川正恭。足跡を再検証する」

江藤俊昭 大正大学地域創生学部公共政策学科教授

廣瀬克哉 法政大学法学部政治学科教授

前田隆夫 西日本新聞論説委員

（コーディネーター）

千葉茂明 公益財団法人日本生産性本部上席研究員

(2)「LM最終講義」

北川正恭 早稲田大学名誉教授

(3) 全体総括（閉会挨拶・記念撮影など）